



熱戦を繰り広げた綱引き。右は審判を務めた遠藤選手

五輪選手と子どもたちが交流

オリンピックと雪であそぼ♪雪の大運動会

「オリンピックと雪であそぼ♪雪の大運動会」は2月14日、リステルスキーファンタジアで開かれました。このイベントにはソチ冬季五輪女子モーグル日本代表の星野純子選手(リステル)と同五輪などで活躍し、引退した上村愛子さんが参加。子どもたちと雪上綱引きやそりのリレーを行い交流を図りました。本町出身で同五輪男子モーグル日本代表の遠藤尚選手(忍建設、猪苗代高卒)も応援に駆け付け、イベントを盛り上げました。

本田トミオさんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

2月16日に満100歳の誕生日を迎えた本田トミオさん(古城町)への賀寿贈呈式は同日、本田さんの自宅で行われ、前後公町長、戸田忠義町老人クラブ連合会長らが賀寿や記念品などを贈りました。次男の隆さんが謝辞を述べた後、本田さんが「家族が大事にしてくれて感謝しています」とあいさつしました。本田さんはかつて小学校の教師をしており、この日は教え子の皆さんもお祝いに駆け付け、一緒に歌を歌うなどして長寿を喜びました。



前後町長から賀寿を受ける本田さん(右)

ハクチョウが好きになったよ

千里小1年生が猪苗代湖でハクチョウ観察

千里小の1年生12人は2月13日、猪苗代湖の北岸でハクチョウを観察しました。見学に先立ち、猪苗代湖の自然を守る会の鬼多見賢代表が、自宅でハクチョウの生態などについて説明。その後湖岸へと移動し、ハクチョウの群れが雪原を飛び立つ様子や湖を優雅に泳ぐ様子などを観察しました。小林ひなたさんは「今まで鳥が嫌いだったけど、ハクチョウが好きになった。今日教わったことを妹やママにも教えてあげたい」と笑顔で話しました。



「ハクチョウさんバイバーイ」と笑顔で湖を後にする児童

町中に多彩なひな人形を展示

ぐるっと会津のひなめぐり

ぐるっと会津のひなめぐりは2月4日から3月3日まで、会津の7市町村で開催されました。本町では、中央商店街、JR猪苗代駅前、役場通りの店舗など約40施設に多彩なひな人形が飾られ、訪れた人の目を楽しませました。メイン会場のまちのえき「まるしめ」では、猪苗代保育所の子どもの作品も展示。期間中、お茶会や民話の語りなども催され、来場者の皆さんが春の訪れを感じながら、和やかなひとときを過ごしました。



まちのえき「まるしめ」で民話の語りを楽しむ来場者



写真上_イタリア・ミラノ市で開かれた試食会の様子。会場にはレストラン経営者やシェフなど多くの食通が集まった
写真左_「いなわしろ天のつぶ」を使ったリゾット。好評を博し、海外展開の可能性を感じさせた

町のブランド米を海外に

イタリアの試食会で「いなわしろ天のつぶ」を提供

東北海外展開加速化協議会が主催する輸出食材の調査イベント兼試食会がイタリア・ミラノ市で2月17日(現地時間)に開催され、町のブランド米「いなわしろ天のつぶ」を使った寿司やリゾットなどの料理が提供されました。

同国で最大発行部数を誇る料理雑誌編集社「La Cucina Italiana」本社で開かれたこのイベントには、同国各地からレストラン経営者、シェフ、バイヤー、フードブロガーなど約60人が集い、料理の試食や評価の発表などを行いました。

会場では、同協議会が「いなわしろ天のつぶ」のアンケートを実施。イタリアなどの欧州諸国における展開の可能性などについて意見を聞きました。

「いなわしろ天のつぶ」の評価は良好で、寿司は「米粒がはっきりしていて美味しい」「こんなの、食べたことがない」などと、リゾットは「堅めな米を好むイタリア人のニーズに合う」「アルデンテ(適度に歯ごたえがある)で良い」など、今後の輸出や海外展開に希望が持てる内容でした。

全中女子団体優勝の活躍たたえる

猪苗代中女子バド部に県教委「特別功績団体表彰」

昨年の全国中学校バドミントン大会で団体4連覇を果たし、県教育委員会の本年度教育・文化関係表彰で「特別功績団体表彰」を受けた猪苗代中女子バドミントン部は2月10日、前後公町長らに受賞を報告しました。同部主将の高橋明日香さん(3年)、水井ひらりさん(2年)、宇南山忠明校長と齋藤亘監督が町役場を訪問。高橋さんらは「受賞できたのは町の方々の応援があったから。今後も高い目標を持って頑張りたい」と感謝を述べました。



報告に訪れた高橋さん(右から3人目)、水井さん(同4人目)ら

「ひまわりこども園」 川西地区認定こども園の名称決定

平成28年4月の開園を目指し、現在整備を進めている川西地区認定こども園の名称が「ひまわりこども園」に決定しました。町教育委員会では、昨年8月から9月にかけて名称を募集。選考委員会における審査の結果、全国から応募された111点の中から「ひまわりこども園」が最優秀賞に選ばれ、名称に採用されました。

最優秀賞の表彰は、落成式で行う予定です。

町内外から多数のご応募をいただき、ありがとうございました。受賞者は下記のとおりです。

- ・最優秀賞「ひまわりこども園」 受賞者 鶴川宮玲愛さん(本町)
- ・優秀賞「たちばなこども園」 受賞者 六角富美子さん(関脇)
- ・優秀賞「あすなろこども園」 受賞者 小寺光雄さん(愛知県)

※最優秀賞は同一名称の応募が10件、優秀賞の「たちばなこども園」は2件の応募があったため、抽選により受賞者を決定



パパ、ママ、お兄ちゃんたちに囲まれ、ごきげんな美桜ちゃん

たくさんの愛情を受けて、すくすく成長中の美桜ちゃん。「人に優しく、思いやりのある子に育ってほしいですね」とパパとママは美桜ちゃんを優しく見つめながら話します。

小檜山 美桜 ちゃん

平成 26 年 2 月生まれ
～上戸
康浩さん・由美子さん夫婦の長女

好き嫌いなく何でもよく食べて、すくすく成長中の美桜ちゃん。つかまり立ちや伝い歩きも覚えて、最近では、手押し車で家の中を歩き回るようになりました。

4 世代の 8 人が一緒に暮らす小檜山さん一家。美桜ちゃんには 2 人のお兄ちゃんもいて、家の中はいつもにぎやか。「元気なお兄ちゃんたちの影響なのか、美桜もおてんばです」とパパの康浩さんは笑います。

「表情が豊かで、よく笑ってくれるので癒されます」と話すのは、ママの由美子さん。自身が子どものころから、女の子が生まれたら『みお』と名付けたいと思っていたそうです。「大きくなったらピアノなど、女の子らしい習い事をさせたいですね」と由美子さんは笑顔で話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎ (62) 2111



識名小の児童と雪遊びを楽しむ國分さん



歌川大輝さん
(千里小 6 年)

自分たちの身近にあり、遊んでいる雪に親しんでもらうことができてうれしかったです。予想以上のリアクションでした。特に心に残っているのは給食の時間で、お互いの学校ではやっていることを教え合ったり、笑い合ったりして楽しく過ごしました。みんなとても優しく、心がほっこりしました。



國分花子さん
(翁島小 6 年)

識名小の人みんなは、雪を見ると歓声を上げたり、雪の中に飛び込んだりして大はしゃぎしていました。少しの雪でしたが、とても喜んでくれてうれしかったです。

向こうでできた友達とは、沖縄から帰った後の様子を教え合うなど、手紙のやりとりをして交流を続けています。

雪だるま親善大使が沖縄を訪問

本県と沖縄県との交流の懸け橋を担う「雪だるま親善大使」に選ばれた、翁島小 6 年の國分花子さんと千里小 6 年の歌川大輝さんが 2 月 5 日から 7 日にかけて、沖縄県を訪問しました。

6 日には、那覇市の識名小を訪れ、翁島、千里両校児童からのメッセージを添えた雪だるまを贈るなどして交流を深めました。

この事業は、本県と沖縄県の交流事業の一環で、今年 1 月には識名小の児童 2 人が「さとうきび親善大使」として千里小を訪れています。



来場者に P R する前後町長 (左) と小椋村長 (同 2 人目)

「磐梯山チャレンジパーク」を P R 協議会が東京マラソン EXPO にブース出展

猪苗代、磐梯、北塩原の 3 町村などをつくる「会津磐梯山・猪苗代湖合宿の郷を創る協議会」は 2 月 19 日から 21 日にかけて、「東京マラソン EXPO2015」にブースを出展し、3 町村が一体となって合宿誘致に取り組む「磐梯山チャレンジパーク」を P R しました。東京ビッグサイトで開かれた同イベントには、3 日間で約 10 万人が来場。初日には前後公町長と小椋敏一北塩原村長がブースの前に立ち、会津磐梯山エリアの魅力を発信しました。

子どもから大人まで熱戦展開

「スノードリーム 2015」猪苗代綱引大会

「スノードリーム 2015」猪苗代綱引大会は 2 月 22 日、カメリーナで開かれました。一般男子、一般男女混合とジュニアの 3 部門に町内外から合計 18 チームが参加し、熱戦を繰り広げました。町内からは 3 部門に合わせて 10 チームが出場。ジュニアの部に出場した猪苗代スポ少ソフトボール部の吉川真斗さん (6 年) は「本格的に綱引きをするのは初めてで、難しかったけど粘り強く戦えました。とても楽しかったです」と話しました。



競技に挑む猪苗代スポ少ソフトボール部の部員たち

英語指導力向上の功績たたえる

東中の渡部真喜子教諭に県教委「優秀教職員表彰」

県教育委員会の本年度教育・文化関係表彰で「優秀教職員表彰」を受けた東中学校の渡部真喜子教諭は 2 月 10 日、諏佐一夫校長と共に町役場を訪れ、前後公町長らに受賞を報告しました。この表彰は、「英語指導力向上事業」拠点校の担当者として、授業公開などを通して県内教員に還元し、同事業の推進に寄与したことなどが認められたものです。渡部教諭は「今後もますます英語力の向上に努めていきたい」と話しました。



報告に訪れた渡部教諭 (右から 2 人目) と諏佐校長 (右)

【募集】緊急雇用臨時職員

町では、東日本大震災などにより離職後仕事に就けない人や仕事のない人に就業の機会を提供するため、緊急雇用臨時職員を募集します。

- 募集職種 一般事務 若干名、労務員 若干名
- 資格要件 被災地域の事業所を離職した失業者または居住していた求職者 (過去に緊急雇用臨時職員として町に採用された人は除きます)

●雇用期間 平成 27 年 4 月 13 日～平成 28 年 3 月 31 日 (予定)

●選考方法 面接試験により選考します。

●その他 応募の手続き、勤務条件などの詳細については、3 月中旬に町ホームページに掲載するとともに、各地区の組回覧でお知らせいたします。

☎ 商工観光課 商工観光係 ☎ (62) 2117